



探究ニュース Access No. 28

発行日 令和5年4月24日

目次

- I 48期 探究基礎オリエンテーション
- II 47期 課題探究(C探究)スタート
- III 在校生の皆さんへ 特別講座・ボランティアのお知らせ

I 48期 探究基礎オリエンテーション

入学式翌週の4月11日に、探究基礎のオリエンテーションが行われました。対象を知り、問いを立て、知識を広げ深めていく第一歩として、これまでの調べ学習と「探究」の違いや評価、今後の探究基礎授業の流れや目的などについて全体で説明を受けた後、クラスごとに以下の五つの探究の基礎活動を体験しました。

①図書館ガイダンス

自ら調査するスキルや情報リテラシーを身につけるための、図書館ガイダンス。図書館の利用法、資料検索のコツ、学習への活用法など、図書館の使い方を学びました。また、司書の先生から「あすなろ文庫」や高校1年生にぜひ読んでもらいたい図書の紹介もありました。

②概念マップの作成

概念マップの作成では、テーマの「2050年の社会」をイラストとともに用紙の中央に描き、そこから枝を伸ばして思いつくキーワードを書き込んで広がっていきます。その後、お互いのマップを見て、新たな視点を自分のマップに追加。こうして発想を多様に膨らませ、最後に思考の結果を文章で表現しました。



③知識構成型ジグソー法の体験

ジグソーパズルのように分割と集合を繰り返しながら議論や思考を深めるジグソー法。最初に4人グループを作り、それぞれABCDの役割分担を決めます。次に分担毎のエキスパートチームを作り、資料について考察。最後にABCDが一人ずつ考察結果を持ち帰り、メンバー同士で共有します。授業後半では、「カタクリ」の植生が他の植物と異なることの不思議についてそれぞれの資料を持ち寄り考察を深めました。



④バタフライチャート・トライアングルディベート

「高校生に制服は必要か」をテーマに、各自賛成意見と反対意見を蝶の羽に記入し、その後互いに見合っただけに更に補完。次に三人一組になって2名ずつ意見を述べ、質問に答えました。このとき一人2回、それぞれ賛成側と反対側としての役割を行います。こうして情報を整理する方法を学び、またディベートの表現方法や多角的な視点を身につけました。



⑤「文章の書き方講座」グループワーク

各自が「自分が夢中になること・なったこと」をテーマに発表し、お互いに「問い」を重ねることで、考えや表現の幅が広がることを実感しました。その後、各自でキーワードやトピックをまとめ、再構成したものを発表し文章にまとめました。問いを立てることで文章が次々に書けるようになることを実感したようです。

～1年生の感想より～

- 今回は探究ということで、皆、頭を使った話し合いをすることができていたと思う。また、どんどんクラスの親睦も深まっており、過ごしやすいクラスが形成されていっている感じがした。(4組)
- 今日は探究オリエンテーションで、探究のときの考え方を学ぶことができました。昨日よりも自己紹介など、話をする機会があつて、少しくラスの子と仲良くなれた感じがしました。(3組)
- 探究オリエンテーションを通して、今後どのように活動するかがわかり、非常に楽しみになりました。(5組)



Ⅱ 47期 課題探究（C探究）スタート

4月17日、C探究へと進むための47期生に向けたオリエンテーションが体育館で開かれました。2学年となった47期生は、1年次の探究基礎で取り組んだA探究、B探究を土台として、個人単位でのC探究と論文作成に取り組んでいきます。

オリエンテーション前半では、探究の目標や1年間のプログラム、論文評価ルーブリック、ゼミ活動について説明を聞きました。後半は三人一組になり、事前で作っておいたプロットシートを用いて自分の探究テーマについて順番に発表し、お互いに質問シャワーを行いました。今回気づいたことを基に、5月から始まる仮ゼミでのテーマ発表に向けて、プロットシートを練り直していきます。



～ C探究(個人研究論文の作成)～

昨年度末から、概念マップや文献リストを作成し、個人の探究テーマを検討してきました。1年次で身につけた探究プロセスを用いて、2年次では個人研究を実践します。

2年生1学期は、まずは仮ゼミで自分のテーマを発表するとともに、関連する学問分野について整理し、本ゼミ選択に向けた準備や研究計画の作成を行います。夏からは生徒が中心となって運営するゼミ別の活動となって本格的な調査に入り、2学期以降、自分の所属する本ゼミでメンバーとともに各自で探究を深めていきます。

11月1日に行われる中間発表会を経て、1月には論文を完成させ、3月11日に成果発表会を行うという年間の流れを念頭に、計画的に研究を進めていきましょう。

Ⅲ 在校生の皆さんへ 特別講座・ボランティアのお知らせ

東京大学 金曜特別講座

【希望者 オンライン】

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部による「高校生と大学生のための金曜特別講座」がオンラインで開講されています。興味のある分野の講座には、ぜひ参加してみましょう。

今年度から新たに参加を希望する人は、Teams HSCの配信を参照してください。



4/28 (金) 17:30-19:00	生命を支える手術ロボットシステム 小林 英津子 東京大学 工学部 精密工学科・教授
5/12 (金) 17:30-19:00	「不思議」なる災害認識——鴨長明『方丈記』を読む—— 木下 華子 東京大学 文学部 人文学科・准教授
5/19 (金) 17:30-19:00	「美しい赤外光」のもつ可能性：分子を観る・操る 芦原 聡 東京大学 生産技術研究所・教授
5/26 (金) 17:30-19:00	深層学習の原理に迫る——数学の挑戦—— 今泉 允聡 東京大学 教養学部 統合自然科学科・准教授
6/2 (金) 17:30-19:00	史料からみた地震・噴火 杉森 玲子 東京大学 史料編纂所・教授
6/9 (金) 17:30-19:00	アウシュヴィッツから生まれたケンタウロスの話 山崎 彩 東京大学 教養学部 教養学科・准教授
6/16 (金) 17:30-19:00	小さなRNAは今日も奮闘中：同一ゲノムから細胞多様性を導くための戦略とは 東京大学生命科学シンポジウムとのコラボ企画 塩見 美喜子 東京大学 理学部 生物化学科・教授
6/23 (金) 17:30-19:00	計算機で始める社会科学：紛争と危機のシミュレーションを中心に 阪本 拓人 東京大学 教養学部 教養学科・教授
6/30 (金) 17:30-19:00	災禍を伝え継ぐ「場所」の地理学 小田 隆史 東京大学 教養学部 学際科学科・准教授
7/7 (金) 17:30-19:00	機械に人間らしく言葉を使わせるためには？ 大関 洋平 東京大学 教養学部 教養学科・講師
7/14 (金) 17:30-19:00	「障害の人権モデル」と精神医療について考える 石原 孝二 東京大学 教養学部 学際科学科・教授

高倉小学校 放課後子ども教室 高校生メンバー募集

本校のお隣、八王子市立高倉小学校の「放課後子ども教室」では、小学生と一緒に遊んだり、勉強を教えてあげたりする高校生メンバーを募集しています。詳しくはTeams HSCでお知らせしますので、興味がある人は探究部まで申し出てください。

本校で開催される講演会のお知らせ

48期生向け講演会(5月1日 探究授業時) ※2・3年生は放課後に質問できます!
論理的に考えるということ –「探究」スタートに向けて–
講師 大阪大学医学部名誉教授 仲野 徹 先生

1年生の5月1日の探究は、大阪大学医学部名誉教授 仲野徹先生による講演会です。先生から皆さんに向けて、メッセージをいただきました。

～仲野先生から48期生の皆さんへのメッセージ～

世の中の進むスピードはどんどん速くなり、せつかく学んだ知識でさえ、すぐに古びてしまうかもしれません。しかし、自分自身の頭でしっかり学ぶ能力さえあれば、新しいことが次々と現れてきても何ら恐れる必要はありません。そのためにいちばん大事なのは論理的に考える力で、これは、通常の科目の勉強よりも「探究」でこそ学ぶうものです。

「論理的に考える」というと難しそうに聞こえるかもしれませんが、ちょっとしたコツさえ身につければ簡単にできることです。それに、自転車に乗るのと同じで、一度修得すると一生忘れることはありません。短い時間ですが、授業ではそのための方法を紹介して、「探究」をスタートするためのヒントにしてもらえればと考えています。

みなさん、お楽しみに!



理数研究校 2023年度第1回生物講演会 5月13日(土)午後2時～ 【希望者】
海の生物の多様性と共生系
講師 京都大学フィールド科学教育研究センター 山守 瑠奈 先生

理数研究校企画、生物講演会のお知らせです。講師の山守瑠奈先生は、今回の講演会のためにはるばる和歌山県から来てくださいます。海の生物や大学での研究に興味がある人は、奮って参加しましょう。希望者は、Teams HSCで配信済のFormsから申し込んでください。

～山守先生より八王子東生へのメッセージ～

こんにちは、京都大学瀬戸臨海実験所の山守瑠奈です。私は埼玉県の川越女子高校を卒業し、京都大学に進学して現在は海洋生物の研究を行なっています。海の生物は本当に多様で、共生系の巧みさや、個々の生物の生態に驚かされてばかりです。講義では、みなさんにそんな海の生物の面白さを少しでもお伝え出来たら嬉しいです。また、進路のお話なども出来ますので、何でも質問してください。



今後も様々な講座を企画・お知らせしていきます。ぜひ積極的に参加して、視野を広げましょう!